

科目名・単位数	英文会計 2単位	科目分類	財務会計系	発展科目
配当年次	1年次・秋学期・昼	担当教員	あかさわ むねとし	
履修形態	選択必修		赤沢 宗俊	
授業概要	IFRS を導入する企業が増えていることもあり、英語で財務情報を理解する能力が必須である職域が増えている。そこで、本講義では英語により簿記・会計の情報を正確に読み、基礎的な会計処理を行う力を養成することを目的とする。具体的には、英文簿記の基本から学習を始め、基本的な会計処理および会計基準を修得していく。			
到達目標	基本的な英文読解力を養成しつつ、英文会計の基本的な会計処理を修得すること。英文財務諸表を読み解く力をつけること。			
授業方法	レジュメ、資料を配布しながら講義形式で進める。2回目以降は、講義の始めに、前回、事後学習として課した問題について、解答までの流れを学生自身が説明する時間を設ける。			
事前・事後学習	事前学習として、次回の講義で取り扱うレジュメ、資料の該当箇所を読み、不明点を明確にすることを求める。不明点を事前に明確にすることにより、次回の講義で何を理解すべきかが明確になり、的確な質問ができるようになる。 事後学習として、次回までに、配布する問題を解答することを求める。単に解答するだけでなく、なぜ、その解答に至ったのかを自分の言葉で説明する準備を求める。なお、事前・事後それぞれについて学習時間の目安は90分～120分である。			
成績評価の方法	期末考査の得点 (40%)、レポート課題 (30%) 事前・事後学習への取り組み及び講義中の姿勢、質問の有無 (30%)			
フィードバックの方法	講義ごとに、1回以上、発表する機会を設ける。自身の発表を通じて、理解が不足している内容を感じてもらう。講義中及び必要に応じて講義前後に発表内容についてアドバイスを行う。			
履修上の注意	英語が多少苦手でも基本的な簿記・会計の知識があれば英語の読解力を養成することは容易である。将来を見据えて学習意欲を維持することを期待する。			
授 業 計 画				
第1回	<u>講義のオーバービュー</u> 米国の会計基準と国際財務報告基準の動向を概観し、現在英文会計を学習する意義について考察する。 <u>Accounting (会計) と Bookkeeping (簿記) の基本概念</u> 会計と簿記の基本概念を説明する。そして、貸借対照表の基本要素を説明し、会計等式を簡単な問題を通して学ぶ。			
第2回	<u>Debits and Credits: The Double-Entry System (借方と貸方: 複式簿記)</u> 複式簿記のしくみを用語とともに学習する。具体的にはT字勘定の説明から始めて様々な取引のT字勘定への記入方法、総勘定元帳の形式、そして試算表の作成までを学習する。			
第3回	<u>Journalizing and Posting Transactions (仕訳と転記)</u> 基本的な会計処理の英単語を説明する。普通仕訳帳への記入方法と総勘定元帳への転記を学習する。			
第4回	<u>Adjusting and Closing Procedures (決算整理手続き)</u> prepaid insurance (前払保険料)、supplies (消耗品) などの会計処理を学習する。次に accumulated depreciation と allowance for uncollectable accounts (貸倒引当金) の意義を確認する。			

第 5 回	<u>Financial Statements (財務諸表)</u> 初歩的な英文財務諸表の形式を学習する。
第 6 回	<u>Sales and Accounts Receivable (売上と売掛金)</u> 売上、売掛金、貸倒引当金などの会計処理を学習する。
第 7 回	<u>Inventory, Accounts Payable and Cost of Sales (棚卸資産、買掛金と売上原価)</u> 棚卸資産、買掛金と売上原価などの会計処理を学習する。
第 8 回	<u>Property, Plant, and Equipment, Depreciation (有形固定資産と減価償却)</u> 企業が長期にわたり営業目的で使用する有形固定資産について、取得から減価償却および除却までを学習する。特に減価償却に関しては減価償却の方法を解説する。
第 9 回	<u>Notes and Bonds (手形と社債)</u> 手形、社債に関連する用語を確認後、利息などの計算方法を学習する。
第 10 回	<u>Securities (有価証券)</u> 企業資金の運用形態の一つである有価証券について、その分類、取得・売却の会計処理、期末における評価を学習する。
第 11 回	<u>Leases (リース)</u> リース取引の概要、分類を確認するとともに、ファイナンス・リース、オペレーティングリースの借手側の会計処理を解説する。また、リースにおける国際会計基準とアメリカ会計基準の動向についても説明する。
第 12 回	<u>Stockholders' Equity (株主資本)</u> 株式発行、利益配当、自己株式などの会計処理を学習する。
第 13 回	<u>Financial Statements Analysis (財務諸表分析)</u> 収益性の分析、効率性の分析及び安全性の分析指標を学習する。また、財務諸表を使用し、問題演習を行う。
第 14 回	<u>会計基準の国際動向</u> 国際会計基準とアメリカ会計基準における最近の動向を紹介する。 <u>講義のまとめ</u> 講義の復習と問題演習を行う。
第 15 回	<u>授業内テスト及び解説</u> 授業内テストと解説を行う。
テ キ ス ト	レジュメ、資料を配布する。
参 考 図 書	授業時に適宜推薦する。